

金沢競馬経営改善計画の振興策等の取組状況評価案（平成19～21年度）

資料 3

1 魅力あるレース番組の提供

計画目標【経営改善計画2（1）振興策①】

趣向を凝らしたレースの実施など、魅力ある番組編成に取り組む。（準メインレースの導入、全国の女性騎手の招致など）馬券の多様な組み合わせと白熱した競馬を提供するため、1レースあたりの出走頭数を10頭以上確保する。

（凡例 ◎：実施済 ○：取組中 ▼：未着手 ×：実施困難）

方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価（案）
短期方策	1	力の均衡したレースや短距離レースの実施	◎	<p>・魅力あるレースの提供として、白熱したレース実施のために新たなレース編成方法の改善として、編成の基準となる取得賞金を生涯取得賞金から過去2年間の取得賞金に変更し、レース時の馬の能力がより反映するようにし、一定の効果があつた。</p>
	2	スタート時間の厳守	◎	
中期方策	3	ドリームレースの実施 （ファン投票により、出走馬、騎乗騎手を選抜）	◎	<p>・2歳馬早期出走奨励金の新設、出走手当ての増額及び入厩条件の緩和を行い、多頭数のレース編成を実施し白熱した競走や馬券の多様な組み合わせの発売につながるよう努めているが、経済状況の悪化による馬主の減少や馬の生産頭数の減少から2歳馬は減少傾向にあり、一層の関係者一丸となった取り組みが必要である。</p> <p>・各種の趣向を凝らしたレースとして、トライアル競走等を提供しており、平成20度は全国の女性騎手招待競走LJSレディースジョッキーズシリーズやファン投票選出馬による金沢競馬開設60周年記念競走を実施し多様な競馬ファンの要望に応えている。 今後全国的なシリーズ競走（スーパージョッキーズトライアル、未来優駿等）の開催誘致に、積極的に取り組む必要がある。</p> <p>・発売関係としてはスタート時間の厳守や他場で実施するナイトー場外発売増を行いファンの要望に応えたが、JRAの発売に関しては収益面での効果が薄いこと等があるが引き続き検討する必要がある。</p> <p>・勝馬投票券発売機及び馬場の改修並びにナイトー競馬の開催については費用対効果の面から検討を継続する必要がある。</p>
	4	賞金、出走手当の引き上げ（スターホース・スタージョッキーの育成、在厩馬の安定的な確保）	◎	
	5	他場で実施するナイトーレースの場外発売増	◎	
	6	重賞レースの増	○	
	7	JRA（中央競馬）の馬券発売	▼	
	8	馬主の所得制限（500万円以上）の緩和（在厩馬の安定的な確保）	▼	
	9	馬券への馬名の表記	▼	
	10	ナイトー競馬の開催（事例調査、実績など）	▼	
	11	賭式の単純化（お金の回転を生むように）	×	
	12	JBC競走（ジャパソフリーグ・ス・カップ）の誘致	×	
長期方策	13 14 15	馬場の改修（アップダウンのあるコース、コースの芝生化、馬場の半ドーム化＜冬期の競馬開催長期計画＞）	▼	

4 効果的なPR活動

計画目標【経営改善計画2(1) 振興策④】				
広告宣伝業務の全てを民間企業に委託し、重賞レースの実施時期などに合わせて積極的にPRを行う選択・集中方式のPR活動を実施する。				
(凡例 ◎：実施済 ○：取組中 ▼：未着手 ×：実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
短期方策	53	入場券のプリペイドカード化、回数券化	◎	<p>・「金沢ホースパーク」という呼称を新たに設け、親しみやすいイメージに一新するとともに、広報の一括委託により、民間手法による効率的かつ多種多様なメディアを活用した広報展開を実施している。</p> <p>広報内容としては、各種祭事を折り込んだイベント、競馬関係者の協力によるファン参加型イベント、抽選会等のファンサービスの充実を図っている。</p> <p>今後もより競馬場が身近なものとなるようPR活動を実施していく必要がある。</p> <p>・競馬に関する資料館の設置やコンサートへの活用など、概ねは達成しているが、大きな経費を伴うものについては、費用対策効果の検証を行う等継続して検討していく必要がある。</p> <p>・金沢競馬に親しみを持ってもらうため若者・家族層向けのステージイベントを定期的実施しているが、一方で競馬ファンの来場や馬券発売につながる仕掛け作りも併せて必要であり、検討を継続する必要がある。</p>
	54	各種催事を折り込んだ競馬まつりの開催（騎手サイン会、野菜市、馬とのふれあい体験、フリーマーケット、巨大迷路、花火大会など）	◎	
	55	子供たちの遠足への活用	◎	
	56	常連客や高額の中者に称号（先生・博士）授与	◎	
	57	ポイントカードの発行等によるサービス化、特典化（入場、馬券購入の回数や金額によりポイントを貯め、景品がもらえる）	◎	
	58	外れ馬券を再利用した抽選会への応募（後日、当選者を掲示発表することにより再来場を促す）	◎	
	59	場内広場への出店者募集：冠レースと同様な扱い（屋台、ワゴン売り店等）	◎	
	60	ファン参加型の競馬運営（裏方部分の公開、1日開催執務委員長）	◎	
	61	職員の個人車両に競馬ポスター（ステッカー）の貼付	◎	
	62	金沢競馬インフォメーションとしての文化施設等における掲示等	◎	
	63	ネットバンク投票、インターネット投票などのPR	◎	
	64	競馬のイメージを改善するPR方法	◎	
	65	金沢競馬場のネーミング、ロゴマークの周知	◎	
	66	新聞（地方紙、全国紙、スポーツ紙）、テレビ（CF作成のうえ放映）、パソコン等による広告宣伝	◎	
67	タウン情報誌や情報番組での金沢競馬の紹介（施設、馬の紹介や競馬体験レポート）	◎		
68	場内における酒類販売の適否	◎		
69	パチンコ等と比較して、競馬そのものの魅力、おもしろさを広く掘り起こす。（競艇の集客力に比較して、競馬が劣後する理由の究明）	◎		
70	野外彫刻展の実施（金沢美大等との連携）	×		
中期方策	71	競馬に関する資料館、ミュージアムショップの設置	◎	
	72	コンサートへの活用（全国区のタレント、地元大学のバンド等）	◎	
	73	地元特産品や人気商品の限定発売（競馬以外の要素の追加）	◎	
	74	イベント参加団体に無料送迎サービスを実施	◎	
	75	一定枚数の外れ馬券（マイルージ方式）で景品交換	◎	
	76	ホースピアレディの復活・充実	◎	
	77	競馬とのふれあいの増（非開催日の厩舎、調教見学等）	◎	
	78	ハルウララの全国キャラバン誘致	◎	
	79	各種イベントへの積極参加（犀川まつり、歩行者天国等）	◎	
	80	ホースセラピーや乗馬教室の開催	◎	
	81	ゲームセンターの設置（子供連れや若者向けに1日中遊べる施設）	○	
	82	民間企業の懇親会、グランドゴルフ等への活用	○	
	83	金沢競馬サポーターズクラブ（仮称）の結成	○	
	84	県庁、金沢駅、能登空港等へのレース映像の発信	○	
85・86	観光客、観光会社へのPR、温泉等の観光コースへの取り込み	○		
87	映像、音楽を若者向けに変更	○		
88	ガードマン、清掃員等の制服を遊び心のある洒落たものに変更	○		
89	野外コンサート等のイベント開催に転用（使用料収入の確保）	○		
90	場内における農産物、海産物、その他商品販売による収益	○		

5 冠レースへの参加促進

計画目標【経営改善計画2(1) 振興策⑤】				
レースに個人、企業の名前を付ける冠レースへの参加呼びかけを積極的に行う。				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
中期方策	91	冠レースの料金の体系化	◎	・冠レースの料金を体系化した上で特典等を付与し、拡充に取り組んできており、今後も継続して実施していく必要がある。 個人冠レースについては、周知も進み応募も安定しているが、企業応募の件数アップが課題となっている。今後企業ニーズに応える仕組みが必要である。

6 ミニ場外発売所の設置検討

計画目標【経営改善計画2(1) 振興策⑥】				
本場への影響が少ないオーナー方式による非滞留型のミニ場外発売所について、他場の動向を注視し、設置可否の調査・研究を進める。				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
短期方策	92	場外発売所(専用場外、共同場外、ミニ場外)の設置(宝くじ感覚、JRA・車券・舟券の併売、県・市の施設内も視野に入れて)	▼	・ミニ場外発売所を設置した場合、勝馬投票券の購入場所を本場からミニ場外発売所へ移行させるおそれもあり、ミニ場外発売所設置による新規ファン獲得には課題も多いが、今後も愛知県競馬組合の大須場外発売所の実績状況を見極める必要がある。

7 他場との連携強化

計画目標【経営改善計画2(2)】				
開催曜日の変更により、東海地区との連携を強化する。 名古屋競馬場での発売日数<H18>年間9日→<H19~>年間46日 笠松競馬場での発売日数 <H18>年間18日→<H19~>年間46日				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
短期方策	93	開催曜日、開催回数の検討	◎	・他場との連携をより高め、相互に有利な開催曜日の調整を今後も継続していく必要がある。
	94	場間場外発売(本場非開催日)における収支バランス(1日単位)の検証		
95	小さな改善・コスト削減の積み重ねだけでなく、大胆な増収策を打ち出せるかがポイント			
中期方策	96	他主催者との相互協力の強化(ブロック化の促進)	◎	

8 職員・従事員の削減

計画目標【経営改善計画2(3) ①】				
職員・従事員の削減 業務の外部委託をさらに推進することにより、職員及び従事員の削減を図る。				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
短期方策	97	臨時、嘱託等の採用による正規職員の減(人件費率を下げることの検討)	◎	・職員については計画どおり19~21年の3カ年で7名の削減を実施している。 ・従事員については、開催業務に支障がない範囲で配置人員を見直し、人員削減を進め、開催経費の削減を図ってきた。更なる外部委託の可能性の検討等人件費縮減の検討が必要である。
中期方策	98	清掃員や馬券売りのボランティア募集	○	

9 民間委託の促進

計画目標【経営改善計画2(3)②】				
更なる経費の節減を図るため、複数の業務を一体的に民間委託する包括外部委託方式の導入について調査・研究を進める。(広報宣伝、警備、清掃、施設管理などの業務を一体的に委託)				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
短期方策	99	委託方法、委託料の検討	◎	・競争入札の拡大、細分化した業務を一本化して一括契約し、契約額の引き下げと業務の効率化を今後も継続して実施する必要がある。一括委託した投票業務、広報業務以外の業務についても、今後契約方法・手法について継続して検討が必要である。
	100	民間委託の促進による経費削減	◎	

10 ファン送迎バスの運行経費見直し

計画目標【経営改善計画2(3)③】				
ファンへのサービス低下を極力抑えつつ、運行経費の更なる縮減に向けた取り組みを進める。(利用率の低い運行ルートの見直し、最寄駅とのシャトル化など)				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
短期方策	101	ファン無料送迎バスの効率的な運行ルート(シャトル化も含む)の検討	◎	・利用者が少ない運行経路を廃止し、また、競争入札を拡大しながら、運行経費の削減を実現している。 本競馬場は交通アクセスが悪く、ファンの多くが高齢のため、ファン送迎バスはファン確保として不可欠なものであり、今後利用者が少ない経路の見直しを進めていくうえで、ファンへのサービス低下とならないよう配慮しながら検討を進める必要がある。
中期方策	102	ファン無料送迎バスの廃止又は有料化	▼	
長期方策	103	金沢駅からの乗合タクシー制度、タクシー及び乗合バスの定額化	▼	

11 制度の改正要望

計画目標【経営改善計画2(4)】				
他の地方競馬主催者と連携しながら、引き続き、地方競馬の経営改善に資する制度改正について、国等への積極的な要望活動を行う。				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
			◎	・地方公共団体金融機構納付金について、今後も競馬事業からの納付制度の廃止を求める要望活動を継続して行う必要がある。

12 すべての競馬関係者の意識改革

計画目標【経営改善計画2(5)】				
職員のみならず、全ての競馬関係者の意識改革を図り、競馬関係者が一体となって経営改善に取り組む。(関係団体連絡会の積極的な活用など)				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
中期方策	104	きゅう務員等の生活を保障することを考えるべき(生き甲斐のある職場作り)	◎	・より良い経営方策について、きゅう舎関係者と協議を継続して行う必要がある。

13 その他振興策

計画目標【経営改善計画2(6)】				
ファンとの関係強化を図るため、ファンサービスの向上を図る。また、競馬場内外の環境整備を図る。				
(凡例 ◎:実施済 ○:取組中 ▼:未着手 ×:実施困難)				
方策区分	NO.	金沢競馬検討委員会提言	取組状況	評価(案)
短期方策	105	ファンの意見(生の声)を聴く機会の設定	◎	・ファンの意見の聴取として場内提案箱、ホームページ、場内アンケートなどを実施している。今後も引き続きファンの意見の聴取に努める必要がある。 ・景気動向について、「他の地方競馬」・「公営競技」・「一般の景気動向」と金沢競馬の売り上げとの関連性などの分析を今後も実施していく必要がある。 ・施設貸付収入や広告収入などあらゆる収入確保策について継続して検討する必要がある。
	106	社会の経済動向(景気、GDPなど)と売得額との経時変化の整理(今後の景気変動の予測により、売得額を把握するため)	◎	
	107	競馬場改革〇年計画等を策定(関係諸団体間での情報共有、十分な協議)	◎	
	108	第三者による経営診断の実施	◎	
中期方策	109	場内の施設貸付けによる収入確保(馬場内重賞看板等)、企業とのスポンサー契約(勝負服、大画面にCM)	◎	
	110	各種負担金・補助金の削減・廃止	◎	
	111	手荷物預りの有料化(人件費との均衡、ロッカー化)	▼	
	112	駐車場の有料化	▼	
	113	全観客席の特別観覧席(有料)化	▼	
長期方策	114	きゅう舎、宿舎の家賃等、場内店舗の賃料の見直し	×	
	115			